

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	農林課(林務・自然保護担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	エゾシカ有害駆除事業	事業番号	11143

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	4-2	自然保護の推進
	施策目標	恵まれた自然環境を守り自然と人のふれあいを大切にするまち	

2 事務事業の目的

目的	エゾシカによる、農業被害及び自動車等との衝突事故を減少させるため、エゾシカの個体数の減少を図る。
成果	エゾシカ個体数の減少のための有害駆除事業の実施により、牧草及びラップサイレージ被害などの農業被害、列車事故や通行車両等の衝突事故などの被害の減少が図られる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	①有害駆除(猟銃及び罠いわな) ②捕獲体制の強化(猟銃免許取得促進のための補助)						
	28	①有害駆除(猟銃及び罠いわな) ②捕獲体制の強化(猟銃免許取得促進のための補助)						
	29	①有害駆除(猟銃及び罠いわな) ②捕獲体制の強化(猟銃免許取得促進のための補助)						
	30	①有害駆除(猟銃及び罠いわな) ②捕獲体制の強化(猟銃免許取得促進のための補助)						
	31	①有害駆除(猟銃及び罠いわな) ②捕獲体制の強化(猟銃免許取得促進のための補助)						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		10,460	9,990	9,990	9,990	9,990	50,420
	内訳	国庫支出金						
		道支出金	190					190
		地方債						
		その他						
	一般財源		10,270	9,990	9,990	9,990	9,990	50,230
	人員(人工)		0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	
職員費(人員×8,081千円)		2,020	2,020	2,020	2,020	2,020	10,100	
総事業費		12,480	12,010	12,010	12,010	12,010	60,520	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	エゾシカの有害駆除数(年間)	1,500頭	1,500頭	1,500頭
	捕獲事業従事者数	34人	40人	45人

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	農業被害の軽減、通行車両等の衝突事故の減少。
-------------------	------------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 農業者などからの要望が多い。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である エゾシカによる農業・交通被害の軽減を図るため市が主体となり、関係機関と連携のうえで実施する必要がある。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 増大するエゾシカ被害の早期軽減が必要である。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 根室市鳥獣被害防止対策協議会において、被害防止に向けた効果的な対策を検討しているため妥当である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 根室市鳥獣被害防止対策協議会において、被害防止に向けた効果的な対策を検討し、構成団体が連携して被害防止対策実践しているため、概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない エゾシカ被害の軽減対策として有効性がある。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 速やかに事業推進を図るとともに、捕獲体制の強化策について引き続き検討されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 根室市鳥獣被害防止計画に基づき、関係機関と協議のうえ効果的な事業を検討する。

作成年度 平成27年度